

受 験 番 号						
M						

令和8年度  
広島大学大学院人間社会科学研究科入学試験  
【博士課程前期】（2月入試）

## 専 門 科 目

教育学専攻 教師教育デザイン学プログラム  
英語教育学領域

令和8年2月13日

自 9時00分  
至12時00分

### 受験上の注意事項

1. すべてのページに受験番号を記入してください。
2. 配付した問題用紙は持ち帰ってはいけません。
3. 配付した問題用紙は、表紙を含めて14ページです。
4. すべての問題に解答してください。

令和 8 年度 広島大学大学院人間社会科学研究所入学試験問題  
【博士課程前期】（2月入試）

試験科目	専門科目	受 験 番 号							
専攻 プログラム 領域・コース	教育科学専攻 教師教育デザイン学プログラム 英語教育学領域	M							

I 令和6年度「英語教育実施状況調査」の結果によると、英語コミュニケーションに比べると、論理・表現では言語活動が少ないことが分かりました。論理・表現の中ではどのように言語活動を充実させていくことができるでしょうか。あなたの意見を日本語で述べなさい。

令和 8 年度 広島大学大学院人間社会科学研究科入学試験問題  
【博士課程前期】（2月入試）

試験科目	専門科目
専攻 プログラム 領域・コース	教育科学専攻 教師教育デザイン学プログラム 英語教育学領域

受 験 番 号					
M					

II 次の〔A〕～〔E〕の問題に答えなさい。

〔A〕次のそれぞれの用語の英語教育との関連性を日本語で説明しなさい。その際、単に日本語での訳語を書くだけにとどまらず、その用語が意味することをわかりやすく解説すること。

(1) The Common European Framework of Reference for Languages: Learning, Teaching, Assessment (CEFR)

(2) cooperative learning

(3) fossilization

(4) テストの妥当性

令和 8 年度 広島大学大学院人間社会科学研究科入学試験問題  
【博士課程前期】（2月入試）

試験科目	専門科目
専攻 プログラム 領域・コース	教育科学専攻 教師教育デザイン学プログラム 英語教育学領域

受 験 番 号						
M						

[B] 次の英文を読んで、下の間に日本語で答えなさい。

(1) \_\_\_\_\_

著作権保護の観点から、公表していません。

(2) \_\_\_\_\_

(3) \_\_\_\_\_

(4) \_\_\_\_\_

令和8年度 広島大学大学院人間社会科学研究科入学試験問題  
【博士課程前期】（2月入試）

試験科目	専門科目	受 験 番 号					
専攻 プログラム 領域・コース	教育科学専攻 教師教育デザイン学プログラム 英語教育学領域	M					

著作権保護の観点から、公表していません。

(5) \_\_\_\_\_

(6) \_\_\_\_\_

(7) \_\_\_\_\_

(Adapted from Abid el Majidi et al. (2020) Debate as L2 pedagogy: The effects of debating on writing development in secondary education, *The Modern Language Journal*, 104)

令和 8 年度 広島大学大学院人間社会科学研究所入学試験問題  
【博士課程前期】（2月入試）

試験科目	専門科目
専攻 プログラム 領域・コース	教育科学専攻 教師教育デザイン学プログラム 英語教育学領域

受 験 番 号						
M						

問 1 下線部(1)はここではどのようなことを意味しているのか、本文に即して具体的に説明しなさい。

---



---



---

問 2 著者らが下線部(2)のように考えているのはなぜか、本文に即して具体的に説明しなさい。

---



---



---

問 3 下線部(3)に関して、著者らが考えるフィードバックの役割を本文に即して説明しなさい。

---



---



---

問 4 ディベートを下線部(4)の考えに照らし合わせた時、どのような利点があると考えられているか、本文中で言及されている Stewart (2003)の考えに即して説明しなさい。

---



---



---



---

令和 8 年度 広島大学大学院人間社会科学研究科入学試験問題  
【博士課程前期】（2月入試）

試験科目	専門科目
専攻 プログラム 領域・コース	教育科学専攻 教師教育デザイン学プログラム 英語教育学領域

受 験 番 号						
M						

問 5 下線部(5)を本文に即して説明しなさい。

---



---

問 6 下線部(6)のように述べられている理由を、著者らが言及している先行研究に基づいて説明しなさい。

---



---



---



---

問 7 下線部(7)はどのような見方であるか、あなたの考えを述べなさい。

---



---



---

問 8 著者らはディベートに大きな期待を寄せているようです。一方で、実際に教室でディベートを実施する場合には、教師や学習者は様々な課題に直面することも予想されます。ディベートを教室で実施する上で、教師はどのようなことに配慮する必要があるのでしょうか。あなたの考えを述べなさい。

---



---



---



---



---



---

令和 8 年度 広島大学大学院人間社会科学研究科入学試験問題  
【博士課程前期】（2月入試）

試験科目	専門科目
専攻 プログラム 領域・コース	教育科学専攻 教師教育デザイン学プログラム 英語教育学領域

受 験 番 号					
M					

〔C〕単語帳を使った語彙学習の効果はどれくらい持続するのか調査を行うことにしました。その調査の  
リサーチデザインを日本語で具体的に述べなさい。また、併せて予想される結果も日本語で述べなさい。なお  
その際、適当な統計手法を必ず使用して、そこにアンダーラインを引きなさい。

(1) リサーチデザイン

(2) 予想される結果

令和 8 年度 広島大学大学院人間社会科学研究所入学試験問題  
【博士課程前期】（2月入試）

試験科目	専門科目	受 験 番 号						
専攻 プログラム 領域・コース	教育科学専攻 教師教育デザイン学プログラム 英語教育学領域	M						

〔D〕 次のそれぞれの問に日本語で答えなさい。

問 1 戦後の日本では、口頭による模倣とその反復による習慣形成によって英語を習得させる指導法が注目されました。しかしながら、その後、このような教授法はコミュニカティブ・アプローチに取って変わられることとなりました。模倣と反復を重視した指導法はなぜ用いられなくなっていったのか、その理由を説明しなさい。

問 2 大岡育造の「教育の独立」をはじめとして、大正期に入ると英語教育存廃の議論が盛んになりました。この時期に英語教育廃止論が起こった理由を、その社会的背景に触れつつ説明しなさい。



令和 8 年度 広島大学大学院人間社会科学研究科入学試験問題  
【博士課程前期】（2月入試）

試験科目	専門科目
専攻 プログラム 領域・コース	教育科学専攻 教師教育デザイン学プログラム 英語教育学領域

受 験 番 号						
M						

Ⅲ 次の〔A〕～〔C〕の問題に日本語で答えなさい。

〔A〕近年、英語学の中で批判的談話分析研究が急速に発展しつつあり、その成果の英語教育への利用も期待されています。具体例を挙げながら、批判的談話分析研究の知見の英語教育における利用可能性について、あなたの考えをまとめなさい。

〔B〕次の言語学用語に関して、それぞれわかりやすく説明した上で、英語教育との関連性を述べなさい  
なお、用語の説明に関しては、単に日本語での訳語名を書くだけにとどまらず、その用語が意味することをわかりやすく説明すること。

(1) chunk

(2) corpus

(3) derivation

(4) phatic function of language

(5) Universal Grammar

令和 8 年度 広島大学大学院人間社会科学研究科入学試験問題  
【博士課程前期】（2月入試）

試験科目	専門科目	受 験 番 号					
専攻 プログラム 領域・コース	教育科学専攻 教師教育デザイン学プログラム 英語教育学領域	M					

[C] 次の音声学用語または文法用語に関して、それぞれわかりやすく説明し、さらにそれらの事柄を指導する際、どのようなことに留意する必要があるか答えなさい。なお、用語の説明に関しては、単に日本語での訳語名を書くだけにとどまらず、その用語が意味することをわかりやすく説明すること。

(1) accent shift

(2) causative verb

(3) conditional sentence

(4) passive voice

(5) [h]

令和 8 年度 広島大学大学院人間社会科学研究科入学試験問題  
【博士課程前期】（2月入試）

試験科目	専門科目
専攻 プログラム 領域・コース	教育科学専攻 教師教育デザイン学プログラム 英語教育学領域

受 験 番 号						
M						

IV 次の英文を読み、下の問に答えなさい。

(1) \_\_\_\_\_

( A )

著作権保護の観点から、公表していません。

(2) \_\_\_\_\_

( B )

(3) \_\_\_\_\_

(Adapted from Martin Montgomery et al. (2013) *Ways of Reading: Advanced Reading Skills for Students of English Literature*, Routledge.)

問1 下線部(1)について、下の文(a)~(c)はそれぞれ、英語における何の決まりに従っていると言えますか。(a)~(c)が従っている決まりをそれぞれ英語一語で ( ) 内に書きなさい。

- (a) ( )
- (b) 著作権保護の観点から、公表していません。 ( )
- (c) ( )

令和 8 年度 広島大学大学院人間社会科学研究科入学試験問題  
【博士課程前期】（2月入試）

試験科目	専門科目
専攻 プログラム 領域・コース	教育科学専攻 教師教育デザイン学プログラム 英語教育学領域

受 験 番 号						
M						

問 2 ( A ) に入れるのもっとも適切な語を次から選び、○で囲みなさい。

bending following inventing involving operating

問 3 次の詩 ‘Sardines’ (Spike Milligan 作) と英語の慣用表現 “著作権保護の観点から、公表していません。” とを関連付けながら、下線部(2)の内容を説明しなさい。

著作権保護の観点から、公表していません。

(Spike Milligan (1999) *A Children's Treasury of Milligan: Classic Stories & Poems*, Virgin.)

---



---



---



---

問 4 ( B ) に英語の形容詞一語を入れなさい。

---

問 5 下線部(3)にはどのような表現が入ると思いますか。その表現を日本語もしくは英語で書きなさい。

---



---



---